



2018年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年4月27日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）寺本 克弘
 問合せ先責任者（役職名）コーポレート・コミュニケーション部長（氏名）黒須 昭仁（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2018年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第1四半期	71,954	12.3	6,713	10.7	12,338	46.3	9,959	50.7	9,520	47.3	7,712	40.4
17年12月期第1四半期	64,055	12.5	6,062	5.4	8,435	47.4	6,610	84.3	6,462	81.7	5,494	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
18年12月期第1四半期	76.82	76.80
17年12月期第1四半期	52.31	52.29

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
18年12月期第1四半期	307,552	180,306	170,832	55.5
17年12月期	301,557	177,002	167,537	55.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
17年12月期	—	34.00	—	38.00	72.00
18年12月期	—	—	—	—	—
18年12月期（予想）	—	36.00	—	37.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	150,000	12.5	14,500	5.4	15,700	△7.6	10,500	△16.0	85.12
通期	308,000	9.1	32,600	10.6	35,900	2.8	25,700	2.2	208.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

18年12月期1Q	125,133,799株	17年12月期	125,133,799株
18年12月期1Q	1,175,550株	17年12月期	1,888,247株
18年12月期1Q	123,918,729株	17年12月期1Q	123,529,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
4. 補足情報	14
(1) セグメント別受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、堅調な産業用ロボット需要、中国市場における建設機械向け売上により、売上高71,954百万円、営業利益は6,713百万円となりました。税引前四半期利益は、持分法による投資利益が増加したことにより、12,338百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は9,520百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比1,089百万円(△1.5%)減少し73,978百万円となりました。売上高は、前年同期比7,899百万円(12.3%)増加し71,954百万円となり、営業利益は、前年同期比651百万円(10.7%)増加し6,713百万円となりました。売上高営業利益率は9.3%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	28,773	30,183	4.9
トランスポートソリューション事業	19,097	20,420	6.9
アクセシビリティソリューション事業	22,808	18,651	△18.2
その他	4,390	4,724	7.6
合計	75,067	73,978	△1.5

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	25,069	29,388	17.2
トランスポートソリューション事業	16,184	18,513	14.4
アクセシビリティソリューション事業	19,011	19,680	3.5
その他	3,790	4,373	15.4
合計	64,055	71,954	12.3

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	4,480	5,254	17.3
トランスポートソリューション事業	1,358	1,562	15.0
アクセシビリティソリューション事業	1,359	1,370	0.8
その他	487	660	35.6
全社または消去	△1,622	△2,133	—
合計	6,062	6,713	10.7

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比1,411百万円(4.9%)増加し30,183百万円となりました。売上高は、同4,319百万円(17.2%)増加し29,388百万円、営業利益は、同774百万円(17.3%)増加し5,254百万円となりました。

精密減速機は、主に堅調な産業用ロボット向け需要及び生産設備の自動化・省人化ニーズを受け、売上高は前年同期比増収となりました。油圧機器は、中国市場における建設機械需要の高まりにより、売上高は前年同期比増収となりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比1,323百万円(6.9%)増加し20,420百万円となりました。売上高は、同2,329百万円(14.4%)増加し18,513百万円、営業利益は、同204百万円(15.0%)増加し1,562百万円となりました。

鉄道車両用機器では、堅調な国内向けと中国地下鉄向けの増加により、売上高は前年同期比増収となりました。航空機器は、民間航空機向けでB777の新機種への切り替えの端境期が続くも、防衛省向けの需要を取込み、前年同期比増収となりました。商用車用機器は、堅調な国内市場により、売上高は前年同期比増収となりました。船用機器では、海運・造船市況の低迷が続いており、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比4,157百万円(△18.2%)減少し18,651百万円となりました。売上高は、同669百万円(3.5%)増加し19,680百万円、営業利益は、同11百万円(0.8%)増加し1,370百万円となりました。

自動ドアは、堅調な国内の需要により、売上高は前年同期比増収となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比334百万円(7.6%)増加し4,724百万円となりました。売上高は、同583百万円(15.4%)増加し4,373百万円、営業利益は、同173百万円(35.6%)増加し660百万円となりました。

包装機は、国内外ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比増収となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	増減率(%)
日本	37,619	41,015	9.0
中国	7,365	10,394	41.1
その他アジア	4,629	4,904	5.9
北米	4,610	4,697	1.9
ヨーロッパ	9,553	10,620	11.2
その他地域	278	324	16.7
合計	64,055	71,954	12.3

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

2 中国向けでの増は主に油圧機器と鉄道車両用機器の増加によるものです。

② 税引前四半期利益

金融収益は52百万円、金融費用は、主に為替差損の発生により613百万円となりました。持分法による投資利益は、当社グループの持分法適用関連会社を実施した新株式発行及び自己株式の処分等により、当該持分法適用関連会社に対する持分比率が減少した一方、2018年3月31日における純資産額が著しく増加したこと等により、前年同期比3,304百万円(114.6%)増加し6,187百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は12,338百万円と前年同期比3,904百万円(46.3%)の増益となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用2,380百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益439百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、9,520百万円と前年同期比3,058百万円(47.3%)の増益となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比24.51円増加し、76.82円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2017年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2018年3月31日)	増減額
資産	301,557	307,552	5,994
負債	124,556	127,246	2,690
資本	177,002	180,306	3,305

【資産】

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は163,421百万円、非流動資産は144,130百万円であり、その結果、資産合計は307,552百万円と前連結会計年度末比5,994百万円の増加となりました。主な増加要因は、持分法で会計処理されている投資の増加6,359百万円です。

【負債】

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は100,446百万円、非流動負債は26,799百万円であり、その結果、負債合計は127,246百万円と前連結会計年度末比2,690百万円の増加となりました。主な増加要因は、その他の流動負債の増加2,749百万円です。

【資本】

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は180,306百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は170,832百万円と前連結会計年度末比3,296百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益9,520百万円に伴う利益剰余金の増加です。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,720百万円、及び在外営業活動体の換算差額の減少等によるその他の資本の構成要素の減少2,112百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年2月9日発表の2018年12月期第2四半期累計期間及び通期における連結業績予想は変更していません。

なお、海外子会社の市場環境変化等による業績への不確実性について現在精査しており、連結業績予想への影響につきましては判明次第お知らせします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループは、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

IFRS第15号の適用に伴い、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しています。

- ステップ1：顧客との契約を識別する
- ステップ2：契約における履行義務を識別する
- ステップ3：取引価格を算定する
- ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する
- ステップ5：企業が履行義務の充足時に収益を認識する

① 一時点で充足される履行義務

当社グループは、産業用ロボット部品、建設機械用機器、鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置、建物及び一般産業用自動扉装置、プラットホーム安全設備等の製造販売を主な事業としています。これらの製品の販売については、多くの場合、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、主として当該製品の引渡時点で収益を認識しています。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート及び返品等を控除した金額で測定しています。

② 一定期間にわたり充足される履行義務

当社グループは、次の要件のいずれかに該当する場合は、製品又は役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しています。

- a 顧客が履行によって提供される便益を、履行するにつれて同時に受け取って消費する。
- b 履行が、資産を創出するか又は増価させ、顧客が当該資産の創出又は増価について支配する。
- c 履行が、他に転用できる資産を創出せず、かつ現在までに完了した履行に対する支払を受ける強制可能な権利を有している。

当社グループにおいて、一定の期間にわたり充足される履行義務に関する収益としては、プラットホーム安全設備等の履行義務があります。プラットホーム安全設備等の収益は進捗度を見積り認識しています。進捗度は、見積工事原価総額に対する実際工事原価の割合で算出しています（インプット法）。

本基準の適用に伴い、従来、流動資産の営業債権に含めていた契約資産1,527百万円、流動負債の営業債務に含めていた契約負債7,283百万円を区分して表示しています。なお、売上高、営業利益及び四半期利益に与える影響はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		44,121	42,785
営業債権		76,874	72,596
契約資産		—	1,527
その他の債権		1,216	1,859
棚卸資産		40,298	42,174
その他の金融資産		190	198
その他の流動資産		2,996	2,283
流動資産合計		165,695	163,421
非流動資産			
有形固定資産		70,700	73,265
無形資産		5,850	5,524
のれん		21,310	20,669
投資不動産		5,404	5,384
持分法で会計処理されている投資		20,184	26,543
その他の金融資産		8,547	8,941
繰延税金資産		1,633	1,610
その他の非流動資産		2,236	2,194
非流動資産合計		135,863	144,130
資産合計		301,557	307,552

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		57,148	51,121
契約負債		—	7,283
社債及び借入金		16,365	16,209
その他の債務		12,492	14,002
未払法人所得税		4,550	2,733
引当金		732	707
その他の金融負債		7	—
その他の流動負債		5,641	8,390
流動負債合計		96,934	100,446
非流動負債			
社債及び借入金		11,355	11,346
退職給付に係る負債		9,339	9,323
繰延税金負債		4,801	4,521
その他の非流動負債		2,127	1,610
非流動負債合計		27,621	26,799
負債合計		124,556	127,246
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		14,956	14,944
利益剰余金		143,349	148,139
自己株式		△3,600	△2,971
その他の資本の構成要素		2,831	719
親会社の所有者に帰属する持分合計		167,537	170,832
非支配持分		9,465	9,474
資本合計		177,002	180,306
負債及び資本合計		301,557	307,552

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
売上高	2	64,055	71,954
売上原価		△45,739	△51,770
売上総利益		18,316	20,184
その他の収益		148	535
販売費及び一般管理費		△12,046	△13,935
その他の費用		△357	△72
営業利益	2	6,062	6,713
金融収益		29	52
金融費用		△539	△613
持分法による投資利益		2,883	6,187
税引前四半期利益		8,435	12,338
法人所得税費用		△1,824	△2,380
四半期利益		6,610	9,959
四半期利益の帰属 親会社の所有者		6,462	9,520
非支配持分		148	439
四半期利益		6,610	9,959
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		52.31	76.82
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		52.29	76.80

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
四半期利益		6,610	9,959
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		△50	△247
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		△11	6
純損益に振り替えられることのない 項目合計		△61	△241
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△1,055	△2,006
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		△1,055	△2,006
税引後その他の包括利益合計		△1,116	△2,247
四半期包括利益合計		5,494	7,712
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		5,539	7,430
非支配持分		△45	282
四半期包括利益合計		5,494	7,712

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2017年1月1日残高		10,000	14,703	125,493	△2,649	△2,788	3,169
四半期利益		—	—	6,462	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△862	△40
四半期包括利益合計		—	—	6,462	—	△862	△40
自己株式の取得及び処分等		—	—	△4	36	—	—
非支配持分の取得及び処分等		—	—	—	—	—	—
配当金		—	—	△3,229	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	△21	—	—	—
株式報酬取引		—	△16	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△16	△3,253	36	—	—
2017年3月31日残高		10,000	14,687	128,701	△2,612	△3,649	3,129

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2017年1月1日残高		—	382	147,929	7,974	155,904
四半期利益		—	—	6,462	148	6,610
その他の包括利益		△21	△923	△923	△193	△1,116
四半期包括利益合計		△21	△923	5,539	△45	5,494
自己株式の取得及び処分等		—	—	33	—	33
非支配持分の取得及び処分等		—	—	—	39	39
配当金		—	—	△3,229	△257	△3,486
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		21	21	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△16	—	△16
所有者との取引額等合計		21	21	△3,212	△217	△3,430
2017年3月31日残高		—	△520	150,256	7,712	157,968

当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2018年1月1日残高		10,000	14,956	143,349	△3,600	△773	3,604
四半期利益		—	—	9,520	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,851	△262
四半期包括利益合計		—	—	9,520	—	△1,851	△262
自己株式の取得及び処分等		—	—	△32	133	—	—
配当金		—	—	△4,720	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	23	—	—	—
株式報酬取引		—	△12	—	—	—	—
その他		—	—	—	496	—	—
所有者との取引額等合計		—	△12	△4,729	629	—	—
2018年3月31日残高		10,000	14,944	148,139	△2,971	△2,623	3,342

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2018年1月1日残高		—	2,831	167,537	9,465	177,002
四半期利益		—	—	9,520	439	9,959
その他の包括利益		23	△2,090	△2,090	△157	△2,247
四半期包括利益合計		23	△2,090	7,430	282	7,712
自己株式の取得及び処分等		—	—	100	—	100
配当金		—	—	△4,720	△273	△4,992
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		△23	△23	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△12	—	△12
その他		—	—	496	—	496
所有者との取引額等合計		△23	△23	△4,134	△273	△4,407
2018年3月31日残高		—	719	170,832	9,474	180,306

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	25,069	16,184	19,011	60,265	3,790	64,055	—	64,055
セグメント間売上高	409	78	1	488	111	600	△600	—
売上高合計	25,479	16,262	19,012	60,753	3,901	64,654	△600	64,055
セグメント利益 (営業利益)	4,480	1,358	1,359	7,197	487	7,683	△1,622	6,062
金融収益				—				29
金融費用				—				△539
持分法による投資利益				—				2,883
税引前四半期利益				—				8,435

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、真空機械、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	29,388	18,513	19,680	67,581	4,373	71,954	—	71,954
セグメント間売上高	571	135	2	709	65	773	△773	—
売上高合計	29,959	18,649	19,682	68,290	4,437	72,727	△773	71,954
セグメント利益 (営業利益)	5,254	1,562	1,370	8,186	660	8,846	△2,133	6,713
金融収益				—				52
金融費用				—				△613
持分法による投資利益				—				6,187
税引前四半期利益				—				12,338

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、真空機械、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

4. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2017年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2018年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	26,521	23.0	29,376	24.2
トランスポートソリューション事業	53,253	46.2	52,990	43.7
アクセシビリティソリューション事業	28,565	24.8	30,779	25.3
その他	6,904	6.0	8,226	6.8
合計	115,243	100.0	121,371	100.0